



紙芝居を通して見た昭和の時代

第1回町民公開講座を開催

10月18日（火）、中央公民館において、第1回町民公開講座（兼）ことぶき学園学習会が開催され、150名の方が受講しました。

講座は第1部と第2部で行われ、第1部では「ふとしたことで、日常の言葉や数字がユーモアとアイデアになり生きがいを作る」と題した講演が、第2部では街頭紙芝居の実演が行われました。

講座のテーマ「紙芝居を通して見た昭和の時代」とあり懐かしさを感じ、笑いに包まれる会場となりました。



安全はわが家から職場から

くらしの安全住民大会を開催

10月20日（木）、「小清水町くらしの安全住民大会」が中央公民館で開催されました。

大会では、斜里警察署地域交通課釣谷課長より「地域安全と交通安全」について、刑事生活安全課湊生活安全係長より「振り込め詐欺防止」についての講話をいただいたほか、こしみずリリースの「振り込めダメダメ音頭」が披露され、被害防止の意識を高めました。

また、大会の最後には、ことぶき学園自治会の工藤敏江副会長と小清水小学校の岩田望杏児童会長が交通安全宣言を行いました。



大きな良い木に育ててね

止別治山の森で町民育樹際を開催

10月12日（水）、止別治山の森において、町・網走南部森林管理署・網走地区森林組合の共催による町民育樹際が開催されました。

参加者は、小清水小学校の5年生と旭野小学校、中斗美小学校の児童など132名。

この日は、健全な森林に育つための間伐や、森林づくりのためのロボットによる枝打ち作業の実演を見学し、大きな良い木に育てるために必要なことを学びました。



いっぱいとれたよ！サツマイモ

子どもたちがサツマイモを収穫

10月20日（木）、美和の圃場で小清水幼稚園と町立保育所の子どもたち約50人が、6月に植えたサツマイモを収穫しました。

サツマイモ掘りが始まると、「大きいのとれた！」「このいも重い」など元気いっぱいな声が圃場のいたるところから聞こえ、ビニール袋いっぱいに詰め、満足げな顔をする子どもも見られました。

収穫後は農協青年部のお兄さんたちが用意した焼きいもを美味しくいただきました。



10月4日（火）小清水高校では、外部講師を招き、1・2年生（55名）を対象にしたライフコミュニケーション講座が実施されました。「正社員とフリーターの違いについて」「やりたいこと・実現したいこと（5年後、10年後の自分）」等のテーマで講座が進められ、生徒たちは講師から問いかけられ

るテーマに対してグループに分かれて討論しました。講座中には、生徒から「正社員はスーツを着て、パソコンを使うイメージがあるが？」との問いに、講師は「作業服、私服もあります、会社によって様々な服装です。」という質疑応答もあり、生徒たちは講師のお話しに熱心に聞き入っていました。

正社員とフリーターの違いは？ 小清水高校ライフコミュニケーションを実施



9月21日～30日の10日間、秋の交通安全運動が実施され、全座席シートベルトの着用や飲酒運転の根絶、居眠り運転による交通事故防止を呼びかける啓発活動が行われました。

また、9月25日（日）には、7区川東自治会14名の皆さんが国道334号線の農協スタンド前で、交通安全旗を持つての啓発や、同自治会の新井福子さん手作りのアクリルたわしをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

秋の全国交通安全運動で街頭啓発を実施 安全で安心な車社会をめざして



こんにちは高橋知事 小清水町へ視察・交流に訪れました

知事が地域の皆さんと直接対話する「まちかど対話」がオホーツク管内で開催され、10月20日、地域の活性化方策などについて各市町長と意見交換を行った後、翌日には各市町を訪問しました。

小清水町を訪れた知事は、高齢者生活福祉センター「ほほえみ」を視察され、利用者の皆さんと一緒にレクリエーションを楽しむなど交流を深めました。最後に皆さんと握手を交わし、記念撮影の後、小清水町を後にしました。

■写真

上：「ほほえみ」にて記念撮影

下：レクリエーションで利用者の皆さんと楽しむ高橋知事

